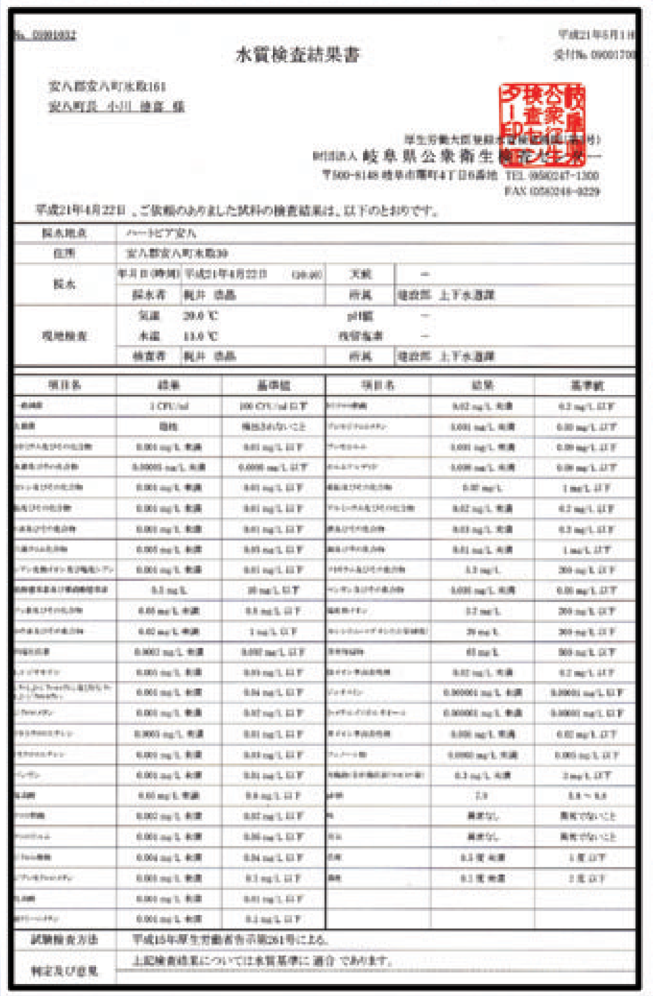
しあわせの泉

『しあわせの泉』の名称は、公募により
「水のやすらぎや恵みを感じて、
幸せになってほしい」
との願いを込めて名付けられました。

この泉は地下１５０ｍから湧き出る

天然水です。



水質検査結果書

平成21年4月22日、ご依頼のありました試料の検査結果は、以下のとおりです。

財団法人 岐阜県公衆衛生検査センター

試験検査方法　平成15年厚生労働省告示第261号による。

判定及び意見　上記検査結果については水質基準に適合であります。

東京工業専門学校　高橋三男教授が開発した「隔膜ガルバニ電池式酸素センサ」を岐阜大学　川上紳一教授に提供してもらい、大垣東高校理数科生徒がハリヨが生息する西濃地域（８箇所）の湧き水の溶存酸素濃度を測定しました。

測定の結果「しあわせの泉」（水温１３．９℃）の溶存酸素濃度は、

９．９９mg/L で高い数値である事が判明しました。

（西濃地域のハリヨが生息する８箇所の湧水の溶存酸素濃度の平均値は９．５５mg/L）

○溶存酸素濃度の高い水を摂取した際の効能として、

1. 細胞を活性化させてみずみずしい肌を保つ効果がある。
2. 血液そのものを浄化させ、健康な体に導く。
3. 肉体疲労を軽減する。

以上３つの効能があるようです。